

霧島

広報きりしま

7
July .2015
VOL.212

未来への遺言

特集
Special Feature

戦後70年
の記憶



使ってトク
クーポン
オリジナル
Post Card
付



昭和16年12月8日、
日本軍の真珠湾攻撃などによって勃発した太平洋戦争。
序盤こそ日本軍が優位に展開しましたが、
昭和20年8月6日広島に、8月9日長崎に原爆が投下され、
ついに昭和20年8月15日、日本は終戦を迎えました。

多くの犠牲を出した悲惨な戦争から今年で70年。
当時を知る人が減っていく中で「戦後70年」は
単なる節目の年ではなく分岐点の年。
霧島市にも戦争の記憶がたくさん残っています。
あの戦争を風化させないために、未来の平和のために、
今だからこそできることがあります。

あれから70年。戦争を知る人が減る中で、私たちは何をすべきなのか。

未来への遺言

戦後70年
の記憶



撮影場所：旧田中家別邸（福山町）

生きていくことが つらかった

「君と国には忠義を尽くせ。親には孝行を尽くせ」子ども
のころから強く教えられ、そ
れが当たり前だと思っていま
した。そう話すのは、溝辺
町竹子の延時力蔵さん（88）
イベントや学習の場で、平和
の大切さを伝えていきます。

延時さんは昭和20年3月、
18歳のときに整備士として鹿
屋基地に配属。そこでの最初
の任務に愕然としたといいま
す。

「1か月間、竹槍の穂先を
作りました。本土戦に備える
ための武器が竹槍。もう勝て

ないと思いました」

その後の任務は、特攻機の
整備。何度も戦闘を繰り返し、
ポロポロになった飛行機を修
理し、片道切符だけを持った
特攻隊員を送り出しました。

「戦争を早く終わらせたい。
家族が平和に暮らせるなら、
死んでも悔いはない」と話す
特攻隊員がいました。私と同
世代。思いをかなえるために、
必死で修理しました」

当時基地は、毎日のように
攻撃を受けました。延時さん
は「ピシッ」と弾がすぐ横を
抜ける音や足元で土煙が上が
る体験を何度もしました。死
と隣り合わせの中でいつも
思っていたのが、ふるさと。

「仲間の遺体に手を合わせ

お前はいいよ、早く帰れ
て」とつぶやく兵士がいまし
た。死への恐怖はありません
でしたが、ふるさとに帰りたい
という思いはみんな強く
持っていました。戦場では死
ぬことよりも生きていくこと
の方がつらかった」

終戦後、溝辺町に帰郷。し
かしそこで待っていたのは、
不安と苦悩の日々でした。

「これからの生活を考えた
とき、不安しかありませんで
した。兵士の中には、生きて
帰ってきたことを責められた
人も。生きて帰ってきたら
いけなかったのか」と肩を落
とす仲間の姿に涙が込み上げ

てきました。戦争は終わって
も、心の中にはいつも戦争の
二文字がありました」

今、延時さんが一番感じて
いることは平和の尊さです。

「日本が勝っていたときに
は、みんなお祭り騒ぎでした。
そのときの相手の気持ちも、
日本が負けて初めて考えまし
た。戦争では多くの命が失わ
れます。生活が一変します。

そこから生まれるのは、憎し
みや苦しみ、悲しみだけ。そ
んな思いは二度としたくない
し、誰にもさせたくない」

時折、涙ぐみながら話す延
時さんの言葉には、戦争体験
者だからこそ伝わってくる重
みがありました。



延時力蔵さん(88)

昭和17年4月15歳のときに長崎県佐世保市の軍需産業
工員養成所に入所。昭和20年3月鹿屋基地に配属。終戦
後、溝辺町竹子に帰郷、農業で生計を立てる。昭和41年
～62年、平成3年～7年まで溝辺町議員、昭和45年には
鹿児島空港建設調査対策特別委員会委員長などを歴
任。平成24年に旭日双光章を受賞。

戦闘機に爆弾を積み、敵艦に体当たりしていく壮絶悲壮な肉弾戦法「神風特別攻撃隊」。その基地が霧島市には2か所ありました。現在の陸上自衛隊国分駐屯地付近にあった第一国分基地、鹿児島空港の滑走路付近にあった十三塚原飛行場ともいわれた第二国分基地です。そこから427人の若者が、敵艦のいる沖繩に向けて飛んで行きました。

隊員のほとんどが20歳前後の若者。あの時、永遠に戻れないと知りながらどのような思いで飛び立って行ったのでしょうか。

特攻隊員の遺書などを展示している溝辺コミュニティセンターの特攻資料展示室。その中の当時17歳だった隊員が残した短歌から、あの時の思いを知ることができます。「三千とせの 歴史を守りて 捨つる身を 思えば軽き わが命かな」。命を掛けて日本の歴史を守ろうという覚悟が書かれた短歌です。

ある人は国を、ある人は愛する家族や恋人を、ある人は

日本の未来を守るために自分の命をかけた特攻隊員。その思いは決して忘れてはいけないう、このまちの歴史です。

強制移転、時限爆弾 特攻の影響は住民にも

特攻基地は、周辺の住民の暮らしにも大きな影響を与えました。その一つが「強制移転」。国分広瀬の宮永光雄さん(79)も、強制移転させられた一人です。

「昭和18年、国分基地の滑走路を海岸まで延ばす計画があり、基地の南側に住んでいた多くの家が強制移転させられました。私も家族と国分湊に引っ越すことに。すぐには湊の小学校には入れず、1年間は国分広瀬にあった小村小学校に通いました」

特攻基地に翻弄された生活。その中で、特攻隊員との交流もありました。

「滑走路の草取りによく借り出されました。出撃する特攻隊員の見送りにも行き、滑走路に一列に並んで飛び立つ特攻機に手を振りました。出撃前日、特別に許される最後

は二つの特攻基地があった

そこから飛び立った隊員は、周辺の住民は、あの時どんな気持ちだったのでしょうか。

の自由時間に、学校に来る特攻隊員もいました。当時は貴重だったチョコレートをみんなに分けてくれました。今思えば、あれはふるさとの兄弟と私たちを重ねていたのかもしれない。次の日、毅然とした表情で特攻機に乗り込み、南の空へと消えていく光景は、今でも思い出すだけで涙が込み上げてきます」

宮永さんは、基地周辺の暮らしぶりを次のように振り返ります。

「基地を狙って、毎日のように敵の攻撃があり、空襲警報が鳴り響くと近くに防空壕が無いので、湊の自宅まで急いで逃げ帰りました。湊小学校に転校した昭和19年4月ごろからは、いっそう空襲が激しくなり、下校中、敵の戦闘機に機銃掃射で狙われて慌てて土手に隠れたこともあります。逃げる途中に家族とはぐれ、一人で必死に逃げたことも。毎日が本当に怖かった」

さらに宮永さんは、当時の貴重な証言をします。

「兵士が隠れている可能性がある」ということで、民家な



特攻隊の記憶



3回旋回が
別れのあいさつ
中村ヨシ子さん(90) 横川町中ノ

亡くなった夫の兄が特攻隊員でした。横川町の実家から近い、溝辺町の第二国分基地から出撃していきました。夫はそのときのことをよく覚えていました。出撃の日、家の上空を3回旋回し、操縦席からは特攻隊員が首に巻く白いマフラーをなびかせながら、手を振って南の空へと消えていった1機の特攻機。兄だとすぐに気付き、家族は泣きながら見送ったそうです。少し悲しげな表情で話す夫の姿に、そのときの家族の心境が伝わってきました。



特攻隊員の
手紙のために
飛松ミチ子さん(89) 隼人町姫城

戦時中、国分清水の郵便局に勤めていました。局長しゅっせいが出征し、女性3人で切り盛りしていました。近くに穴を掘り、それを防空壕として使っていましたが、女性の力ではそんなに深く掘れず、近くに爆弾が落ちたときには、青い炎が中まで入ってきました。何度も危険な目に遭いましたが、それでも郵便局を閉めなかったのは、特攻隊員の手紙があったからです。出撃前、家族に向けた手紙。これだけは絶対に届けないといけないと思いました。



宮永光雄さん(79) 国分広瀬

神風特別攻撃隊

このまちに

国分と溝辺にあった二つの特攻基地。

ども攻撃され、たくさんの時限爆弾も落としていきました。敵機がいなくなったと思い、防空壕などから出てきたところで爆発。いっどこで爆発するか分からない恐怖で安心して暮らすことができず、国分の山間部の民家に疎開。まさしく激動の日々でした。あのころ、生活の中心にあった特攻基地。その記憶は今もなお人々の心に残っています。

合言葉は「欲しがりません、勝つまでは」。その言葉を胸に、我慢の日々でした。

「70年たった今でも、あの日の光景を忘れることができません」。そう話すのは、隼人町小田の柿木道子さん(84)。

当時の記憶が走馬灯のように浮かんでくるといいます。敵の空襲が激しくなってきた昭和20年。柿木さんは当時14歳、国分高等女学校(現国分高校)の3年生でした。毎日のようにアメリカの爆撃機B29が飛んできて、空襲警報

が鳴ると学校近くの防空壕に、家では裏山の防空壕に避難を繰り返す日々でした。

「爆弾の爆発の衝撃はすごかったです。音とともに体の中にまで響いてきました。友達や家族と体を寄せ合い、とにかく「早くいなくなれ」と心の中で祈っていました」食糧や物資があまりなかった時代。乗り越えられたのはみんなで交わした誓いでした。

「畑で作ったカライモやカボチャが主食。それがなくなるとカライモの蔓やカボチャの茎を食べました。時には田んぼでイナゴを捕まえて佃煮にして食べたことも。着る物もなく、祖母や母の着物をほどこいて作ったもんぺをはいて

学校に行きました。あのころのみんなの合言葉は「欲しがりません、勝つまでは」。その言葉を胸に、我慢の日々でした」

火の海と化した集落

終戦前のある日、柿木さん

は下校中に空襲に遭い、国分府中の集落が火の海と化しました。

「燃え上がる炎の中を、無我夢中で走って逃げました。隼人町小田の自宅までどうやって帰ってきたのか、全然覚えていません。とにかく必死に走りました。夏になると、あの日の光景を今でも思い出します」

ようやくたどり着いたわが家。しかしそこには驚きの光景がありました。

「すぐ近くに大きな爆弾が落ち、爆風で家が傾き、皿などが散らばっていました。家族が心配になり、大声で呼び掛けました。幸い、防空壕に避難していてみんな無事でしたが、弟の友達が亡くなった。知り合いの家を失ったりと、本当につらい過去です」

戦争は、大人子ども関係なく、全ての人が当事者です。

柿木さんは「少女心に受けた心の傷は今も癒えません。自分の孫やひ孫には、あんな思いは絶対にさせたくない」と願いを込めます。

夏になれば思い出す 火の海の中を走って逃げた 「あの日」のことを

隼人町小田

柿木道子さん(84)





国分の慰霊碑に刻まれた特攻隊員の名前の多さに驚く生徒



溝辺町の特攻資料展示室には、隊員の遺品が展示されている



戦争体験者の新名正治さんの話を熱心に聴く生徒たち



戦争遺跡などを回り、学んだことを記録



生徒に第一国分基地発電所跡地の説明をする山下勝義さん

資料室の紹介

第二国分基地特攻資料展示室

- ・場所=溝辺コミュニティセンター内
- ・時間=午前8時30分~午後10時
- ☎=溝辺総合支所地域振興課 ☎(59)3115

薩摩隼人記念館

- ・場所=陸上自衛隊国分駐屯地内
- ・時間=午前8時30分~午後4時30分
- ※事前申し込みが必要
- ☎=国分駐屯地広報班 ☎(46)0350

溝辺町の陵南中学校では、平和学習に力を入れています。戦争を知る人が減る中で、地元にある戦争の記憶をこのまま風化させてはいけないと4年前から戦争体験者の話を聴いたり、地元の戦争遺跡を回ったりして、学んだことを文化祭で発表しています。学習をするのは2年生。5月18日には、戦争体験者で始良市の新名正治さん(85)から、第二国分基地の滑走路を造る作業に参加したことや空襲で同級生が亡くなったことなどを教わりました。

5月22日には、戦争体験者で溝辺町麓の山下勝義さん(76)の案内で、滑走路や司令壕の跡地、国分の特攻慰霊碑、特攻隊の資料室がある溝辺コミュニティセンターなどを行いました。慰霊碑のところでは、刻まれた特攻隊員の名前の多さに驚く生徒がいました。資料室では、特攻隊員の写真や手紙を食い入るように見つめる生徒の姿がありました。中には、特攻基地があったことや特攻隊員が片道の燃料だけを積んで飛んで行ったことを、今回初めて知った生徒も多くいました。同中教諭の

身近な戦争の記憶を学ぶ

溝辺町 陵南中学校

中迫和子さんは、この学習の必要性を訴えます。「戦争体験者の話を初めて聴いて、当時の状況をイメージしやすかったという感想もありました。体験者の話を聴いたり、戦争遺跡などを実際に見たりすることで、戦争を身近に感じてくれます。この

学習を通じて、生徒たちの戦争への意識が変わりました」同中2年の堀口美紬さん(13)は、「特攻資料室があったことを初めて知りました。10代後半から20代前半の若者が、短期間で操縦の訓練をし、片道の燃料だけを積んで飛び立って行ったことを知り、胸



陵南中学校2年 堀口美紬さん(13)

が締め付けられそうでした。近くにあった戦争の記憶をもっと学んで、伝えていきたいと思いましたが、決意を胸にしてみました。実際に話を聴いたり、現場に行ったりすることで、戦争への向き合い方が変わります。戦争を身近に感じられる場所が、皆さんの周りにもたくさん残っています。



近衛兵のときに使っていた
配備計画

受け継いでくれる
ことに感謝

6月7日、大隅横川駅保存活用実行委員会のメンバーが話を聴きに訪れたのは、横川町下ノの田上時男さん(94)。戦時中、皇居などで天皇陛下の護衛をする近衛兵このえへいでした。護衛以外にも、召集兵の教育も担当。しかしそこには、大きな葛藤がありました。 「3か月で軍人としての知識を教え、戦地に送り出しました。しかし、銃を持たされ

戦後70年、今だからこそ できることがある

戦争体験者の生の話を聞ける機会が減る中、体験者の思いを受け継いでいこうという取り組みを始める人たちがいます。大隅横川駅保存活用実行委員会もその一つ。現在、体験者の話をまとめた記録集を作成中です。彼らを行動に移させたのは、今を生きるものとしての使命感でした。



田上さんの話しを熱心に聴く愛甲さん



愛甲信雄さん(55)



田上時男さん(94)

たのは10人に1人。それだけモノが無かったんです。見送りに来ていた家族の顔を見るのがつらかった」

空襲で亡くなった人の遺体を埋める作業もしました。部下30人ぐらいとトラックに遺体に乗せて、幅30メートルぐらいの穴を掘り埋めました。田上さんは、あの時の光景が脳裏から離れないといいます。

「山が少ない東京では防空壕ごうが造れず、道端に退避壕を造っていましたが、焼夷弾しょういだんで焼けた建物の火が広がったり、

戦後70年の記憶



近衛兵時代の田上時男さん



当時配られたタバコの真ん中には菊の紋章が



近衛兵の証のバッジ

煙が充満したりして多くの方が亡くなりました。何百もの遺体を埋めました。そのほとんどが焼けて見るに堪えないもので、今でもはつきりと覚えていきます」

田上さんは、当時の貴重な資料などを大切に保管しています。今回、同委員会のメンバーが話を聴きに来たことについて「自分の経験を聴いてくれて本当にうれしい。次の世代にまで受け継いでほしい」と期待していました。

絶対に風化させてはいけない

8年前から大隅横川駅で実施している「平和コンサート」。回を重ねる中で、同委員会会長の愛甲信雄さん(55)は体

験者の話を聴くことの重要性を感じていました。

「平和コンサートで聴く戦争体験者の生々しい話からは、当時の状況が目に見えかぶように、そこからは平和の尊さが伝わってきます。そのことを多くの人に感じて欲しいと思っています」

体験者の話を聴くことが大切だと思った愛甲さん。しかし、過ぎ去った70年という時間は貴重なものでした。



「横川で話してくれそうな人を探しましたが、ほとんど残っていないかったです。このままでは戦争を風化させてしまおうと思ひ、記録集を作ることになりました。たくさんの人に話を聴いて、初めて知ることや勘違いしていたことなど、真実を知ることができ、改めて体験者に話を聴けることの重要性を感じました」

記録集は7月末完成予定。愛甲さんは「私たちは、戦争

体験者に話を聴くことができ

体験者に話を聴くことができ、る世代でもあり、次になくことができる世代でもありません。今を生きる者の使命として、これからも平和の尊さを語り継いでいきたい」と決意を新たにしています。

戦後70年は次への始まりのとき

平和を守るためには、戦争の悲惨さを後世に語り継ぐことが大事です。

しかし、人間の命には時間的な限界があります。あの時20歳だった人は、今は90歳。戦争体験者がいなくなってしまうたら、語り継いでいくのは私たち戦争を知らない世代です。

体験者の話には、教科書では教えてくれない「真実」があります。今なら、その真実

を知ることができます。今回、取材した全員が話していたのが「二度と戦争をしてはいけない」。その思いを引き継ぎ、未来への遺言として、永遠に語り継いでいくことが大切です。

戦後70年を、単なる節目の年ではなく、次への始まりのときにしてみませんか。戦争で犠牲になった多くの皆さんの思い、悲しみや恐怖の中を必死に生きてきた皆さんの思いを知り、語り継いでください。皆さんの一歩が、「未来の平和」へとつながるはずですよ。

■大隅横川駅平和コンサート

戦争体験者の発表や霧島国際音楽祭の音楽家によるコンサートなどがあります。

- 日時=7月30日(木)午後6時から
- 場所=大隅横川駅

■戦争の記録展示

戦争の資料を大隅横川駅に展示します。田上時男さんの資料や同委員会が作成した、戦争記録集も展示予定です。

- 期間=7月27日(月)~8月15日(土)
- 時間=午前9時から午後5時まで

問=横川総合支所地域振興課 ☎(72)0582

未来への遺言

あなたは誰に残しますか



今回、紹介できなかった戦争の記憶は、皆さんの近くにもたくさんあります。

この機会に地域や家族、職場などで戦争体験者の話を聴いたり、

戦争遺跡を見たりしてください。

そして、そこで感じたあなたの思いをここに記録して、この一冊とともに未来に残してみませんか。

あなたのメッセージが、未来の平和につながることを願って一。

※皆さんの「未来への遺言」を募集します。コピーして秘書広報課まで郵送してください。
溝辺町の特攻資料展示室などに展示し、広く紹介します。☎=秘書広報課 ☎(64)0955



A large vertical writing area consisting of 18 parallel vertical lines, intended for handwritten text.

氏名

思い出の味

38

Recipe (レシピ)



プラス
きりしま
FM76.9

FMきりしま
(周波数:76.9MHz)で、
この「思い出の味」を
鹿児島弁で紹介します。

- 放送日時 = 7月16日(木)午後3時30分~、
(再放送)7月17日(金)午前10時30分~
- コーナー名 = 「Junjunと堀ちゃんのかごっま弁で語りもんそお」

竹皮団子

〈材 料〉(2本分)

カライモ(中1本)、カボチャ(1/8カット)、エンドウマメ(少々)、小麦粉(200g)、水(適量)、塩(少々)、竹皮2枚

〈作り方〉

- ① カライモとカボチャをサイコロ大に切る。
- ② 小麦粉に塩、水、①とエンドウマメを入れて耳たぶほどの固さになるまでこねる。
- ③ ②を竹皮に包み30分ほど蒸す。

食

べるといいう事が大変な時代でした」

と戦時中のつらい生活を話すのは霧島永水の四本ハヤ子さん(88)。

米は作っていましたが、軍に渡さなければならず、自分たちの食料確保のために野山を開墾して畑にし、カボチャやカライモなどを植えました。

「ときには空腹に耐え切れず、大きくなる前のカライモを掘ったり、食べられる葉を探しに行ったりしました。あの頃は何でもいから食べ物があるだけで幸せでした」

四本さんは、学校に通いながら母親の家事を手伝いました。当時はカライモが常食でしたが、それほどではありません。そんな中で何か特別なことがあったときに母親と一緒に作ったのが竹皮団子です。

「砂糖は高価で、一般の家庭に無い時代。母は砂糖の代わりにカボチャなどを入れて作り、ささやかな野菜の甘味がしたのを覚えて

戦争の記憶がよみがえる「竹皮団子」

います」

竹皮団子は畑仕事の合間にも重宝され、「家族や近所の人たちが喜んで食べてくれるのがうれしかった」と四本さんは話します。

久しぶりに砂糖の入っていない竹皮団子を作った四本さんは「決して甘くはないけどね。この味で辛く苦勞した戦争の記憶がよみがえる」と当時を思い出します。

小さい頃から、天地一切の恵みとこれを作られた方々のご苦勞に感謝していただきます」と教えられ、茶碗の米粒一つ残さず、作る人に感謝して食べる四本さん。

終戦から70年となる今も、食べ物を大切に作る気持ちと、平和への願いは変わりません。



◎霧島永水

四本ハヤ子さん(88)

今回は、戦争についてもっと知ってほしいと若者へ訴えかける人を紹介します。
霧島市で過ごした学生時代がきっかけで、戦争遺跡の調査の道へ進んだ八巻聡さんです。

今も見ることができる霧島市の戦争遺跡



霧島神宮駅そばの戦車壕跡



溝辺町にある第二国分基地の指令壕跡入り口



第一国分基地の発電所跡

戦争遺跡が伝える“リアル”

「国分西小学校北側の通路は第一国分基地内の中心道路、隼人体育館は砲台の陣地跡など、霧島市内には戦争に関係する場所が今も数多く残されています」と話すのは、南九州市の知覧特攻平和会館に勤めている八巻聡さん(39)。

戦争遺跡に興味を持ったのは、霧島市で航空関係の仕事を目指していた学生時代に初めて防空壕を見たことがきっかけでした。防空壕が少ない千葉県出身の八巻さんは、防空壕が空襲時に避難する場所で、終戦から半世紀以上たった今も残っていることに衝撃を受け、県内各所の戦争遺跡を調査するようになります。その過程で戦争遺跡の存在が忘れられ、戦争に関する資料もほとんど処分されている事実を知り、「自分が戦争の記録を残さねば」と決意しました。

八巻さんは「鹿児島は軍事上の重要拠点だったため、飛行場や砲台、防空壕などの戦争遺跡が多く残され、実際に現地に行って見て触れることができる貴重な地域。遺跡の付近には当時を知る証人もいます。戦争遺跡や生の証言に触れることが『戦争は昔話などではなく、少し前に現実に起こったこと』と知る有効な手段」と話します。

知覧特攻平和会館を訪れるのは年間約60万人で、そのうち子どもや学生は年間600校、約6万人。八巻さんは

「特攻隊員は17歳から32歳、平均年齢は22歳の若者でした。訪れた同世代の若者は彼らの運命を知り、心が動きます。霧島市の若者は、霧島市からも特攻隊が出撃していったことをどれだけ知っているのでしょうか。ぜひ自分たちのまちであった戦争の事実を知り、自分の力で『戦争は悲惨。二度とあってはならない』という答えを導き出してほしいです」と訴えます。

「戦争の時代を知る人が多く健在であった学生時代に、もっと戦争体験や証言を聞いておけば」と後悔もにじませる八巻さん。これからの時代の舵を取る「若者」こそ、今戦争を学び、知る必要があるのではないのでしょうか。



やまき さとしさん(39)

千葉県出身。平成7年第一工業大学入学。在学中に霧島市内をはじめ県内の戦争遺跡を調査。市内の戦争遺跡をまとめた本や県内の航空基地関係の戦争遺跡の本を作成し、DVDなども作成。平成15年から知覧特攻平和会館に勤務。現在も戦争遺跡を調査中。



八巻さんがまとめた戦争遺跡の本や県内の戦争遺跡を記載した地図

八巻さんが作成したDVD「鹿児島県の戦争遺跡航空基地編」の霧島市部分が見られます▶



八巻さんの講演や戦争遺跡の資料展を開催

■隼人歴史民俗資料館特別展「戦後70年霧島市の戦争遺跡」

霧島市内の戦争遺跡の資料を展示します。

- 期間= 8月11日(火)～9月30日(水)午前9時～午後5時
- ※月曜が休館、祝日の場合は翌日が休館。
- 場所= 隼人歴史民俗資料館(鹿児島神宮隣)
- 入館料= 小・中・高校生/70円、大学生・一般/130円。

■八巻さんの講演 ※申し込み不要

- 日時= 8月29日(土)午前10時～正午
- 料金= 入館料のほか資料代として200円
- 問= 隼人歴史民俗資料館 ☎(43)0179

頭

の中で考えたものが形になるとうれしいです」。鹿児島工業高等専門学校4年の町田貴洋さん(19)は、はにかみながらもものづくりの楽しさを話します。

町田さんは、同校の環境創造物理研究部の部長。今年3月に種子島宇宙センターで行われた第11回種子島ロケットコンテストでは、ペイロード部門に出場し、2度目の挑戦で見事優勝を果たしました。全種目60チームの中から選ばれるロケットコンテスト大賞も受賞しました。

チャレンジ精神旺盛で失敗しても諦めず、失敗の原因を突き詰めてさらにいいものを作ろうと取り組む町田さん。「最初に作ったロボットは動くことすらできませんでした。その後、ミスが重なった前回のコンテストの悔しさをバネに、軽量化など改良を重ねました。苦勞した分優勝したときは一番うれしかったです」

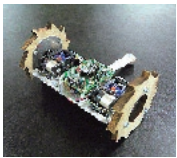


母・ルリ子さん(47)

机の上は、いつも工具箱と部品だらけ。勉強はいつするのだろうと思ったほどです。でも完成作品は「なるほど」と感心するものでした。これからは夢のあるものをあなたの手から作り出してください。楽しみにしています。

ものづくりで みんなの生活を 豊かにしたい

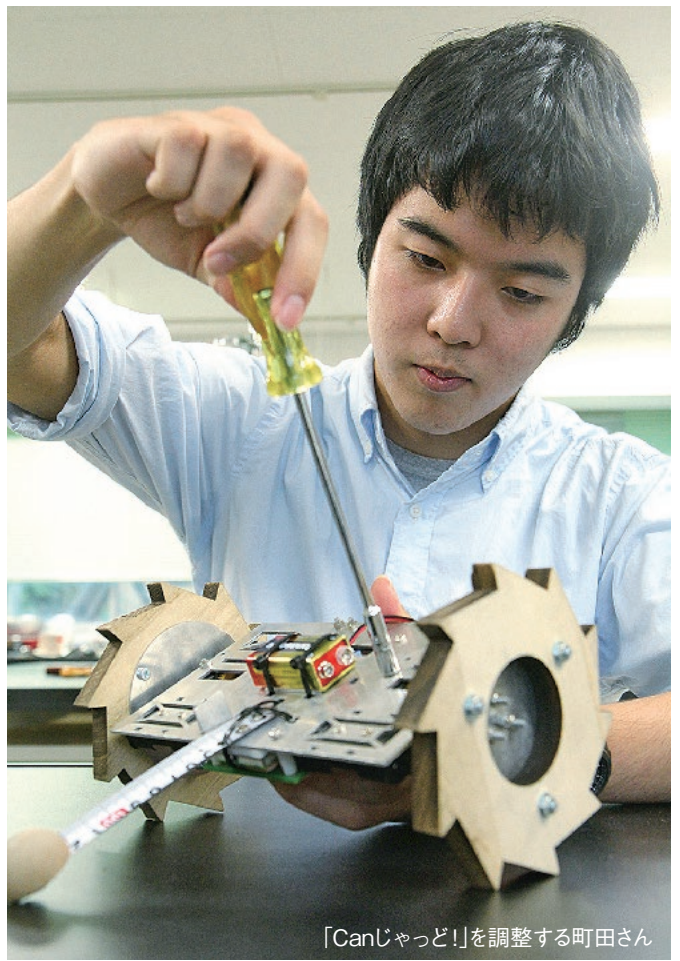
第11回種子島ロケットコンテスト
ロケットコンテスト大賞 ペイロード部門優勝



第11回種子島ロケットコンテスト
で使用した小型自律制御ロボット
「Canじゃっど!」



このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介します。
夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。



「Canじゃっど!」を調整する町田さん



鹿児島工業
高等専門学校4年
町田 貴洋さん(19)
電子制御工学科。1
年のときから「Canじ
ゃっど!」の開発に取り
組み、次の大会に向
け現在次号機を開発中。

※：約100層の高さから投下した小型自律制御
ロボットが着地後、目的地に自力走行し、近
づいた距離を競う。

将来の夢は「生活を豊かに変える
ようなものを作りたい」と照れくさ
そうに話す町田さん。その手には大
きな可能性が秘められています。

と声を弾ませます。
もともとのづくりに興味があつ
た町田さんは、子どものころから飛
行機やロボットの模型を作るのが大
好きで、ペットボトルを使ってロ
ケットを作ったこともありました。
「両親に連れられ博物館に行つた
り、実験・工作教室に参加したりし
たことも、ものづくりへの好奇心を
かき立てました。中学生のときに探
査機はやぶさが帰還したニュースを
見たときは一番刺激を受けました」

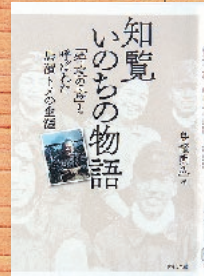
鹿児島工業高等専門学校では、毎
年8月に鹿児島市立科学館で小・中
学生を対象にもものづくり・科学教室
を開いています。町田さんは幼いこ
ろに感じたものづくりの楽しさを子
どもたちに伝えたいといっています。

語り継ぐ 戦争の本

知覧いのちの物語

鳥濱明久 著

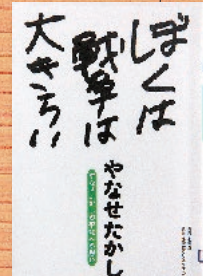
知覧から飛んでいく特攻隊員の最期のときを温かく見守った鳥濱トメさん。彼女の思いを受け継ぐ実孫の著者が、「命」を語り継ぐ。



ぼくは戦争は大ざらい

やなせたかし 著

昭和15年からの5年間、日本陸軍の兵隊だった。批判するメッセージを込めながら、自らの体験をユーモアを交えて語る。



おじいちゃんが孫に語る戦争

田原総一郎 作

自分自身が体験した戦争のことを伝えておきたい。日本を代表するジャーナリストの著者が、孫に語った話をまとめた一冊。



くつがいく

和歌山静子 作

幼い私は知らなかった。軍靴を通して、本当の戦争を知ることや、大事にすべきことを描く。



図書館へ行こう

<https://www.lib-kirishima.jp/>



本からはじまる学習活動推進運動
おはなし王国in横川

- 日時＝7月25日(土)午前10時～11時
- 場所＝横川公民館2階大会議室
- 内容＝図書館職員やボランティアによる読み聞かせ、大型紙芝居、ブラックシアターなど。

問＝横川図書室 ☎(72)1596

国分図書館 開館時間変更のお知らせ

霧島国分夏まつり期間中(7月18日、19日)は開館時間を変更します。

- 開館時間＝午前9時30分～午後5時

問＝国分図書館 ☎(64)0918

隼人図書館 開館時間変更のお知らせ

夏休み期間中(7月18日～8月31日)は開館時間を変更します。(定例休館日の月曜日も開館)

- 平日＝午前9時～午後7時(通常は午前10時～午後7時)
- 主、日、祝日＝午前9時～午後5時(通常どおり)

問＝隼人図書館 ☎(43)7574

※ほかの図書館(室)は通常どおりの開館です。

新刊情報

- アノニマス・コールド／葉丸岳
- 私情対談／藤崎翔
- 豹変／今野敏
- 砂の王宮／楡周平
- 日付変更線 Free Date Line 上・下／辻仁成
- 十字路が見える／北方謙二
- 抱く女／桐野夏生
- 屋上のウインドノーツ／額賀澤
- 極悪専用／大沢在昌
- 太陽は気を失う／乙川優二郎
- かいのどうぶつえん／角田元
- はじめての手作り万華鏡／山見浩司
- なつかしくて新しいあえものサラダ／河村みち子
- せんそうしない／谷川俊太郎
- としまかんへいこう／斉藤洋
- おばけもわかるおばけ／内田麟太郎

イベント名	日時[対象]	場所
ほととの森おはなし会	7月25日(土)、8月8日(土)、22日(土) 14:00～14:30	国分図書館
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	8月1日(土) 10:30～11:30	
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや(りんごの木)	8月3日(月) 10:30～11:00	
おはなしの部屋	7月19日(日) 11:00～11:30 [幼児・小学生] 8月6日(木) 16:00～16:30 [幼児]	隼人図書館
語りの部屋(語りの会あもり)	7月12日(日) 11:00～11:40	福山図書室
おはなし広場	7月25日(土) 10:00～11:00	

霧島市立図書館に
おいでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

- 国分図書館／☎(64)0918
- 隼人図書館／☎(43)7574
- 溝辺図書館／☎(58)3191
- 横川図書館／☎(72)1596
- 牧園図書館／☎(78)3349
- 霧島図書館／☎(57)0316
- 福山図書館／☎(56)2026

昭

和20年8月6日午前8時15分。いつもと変わらない夏の朝、広島に原爆が落とされました。爆心地から4^{キロ}の場所で被爆した10歳の少年は死を免れましたが、悲惨な光景を目にしました。川を流れる無数の遺体、重いやけどで水を求める人々、初めてかぐ異臭、大量にわいたうじが遺体をむさぼる音。世間が敗戦を嘆く中、子ども心に『自分は死なないで済んだ』と安堵あんどしました。

その後少年は就職し結婚。授かるわが子が原爆の影響を受けず無事に生まれるかおびえる中、季節外れの雪の日に女兒を授かると、『被爆直後に黒い雨が降った同じ空から今は白い雪が降ってくる。この子が生きる世は平和で美しくあってほしい』と「みゆき」と名付けました。それからはわが子に原爆の怖さ、平和の尊さを話し続け、77歳の生涯を閉じました。

学校や福祉施設などでそう語りかけるのは、平和の語り部活動を続ける北島みゆきさん(53)。話の「少年」とは北島さんの父親・万貴夫まきおさんで、「みゆき」とは北島さん自身のことです。

活動のきっかけは、北島さんが結婚を機に広島を離れたときのこ

と。日常生活の中で原爆の悲惨さが語られていた広島と比べ、県外での原爆への関心の低さに北島さんは愕然がくぜんとします。「父は水を欲しがり死んでいった被爆者をしのんで、墓参りで余った水をほかの墓に大事にかけていました。そんな姿を見てきた私は、いつしか被爆者の平和への思いを伝えなければと思うようになりました。県外に暮らす被爆二世の私なら、その地に原爆の怖さを伝えられる」と感じ、子どもの就職を機に活動を本格的に開始しました。

語り部活動では、万貴夫さんから聞いたむごい表現をあえて使い、原爆の惨劇を聴覚や嗅覚などで訴え身近なものに例えるなど、何とか具体的に伝えようと工夫してい

る北島さん。「怖いと泣く子もいますが、それは原爆の怖さを分かっただけの証。話の後は『絶対に戦争をしたくない』と話してくれず。この地道な活動がいつか平和の実現につながると信じています」と前を向きます。

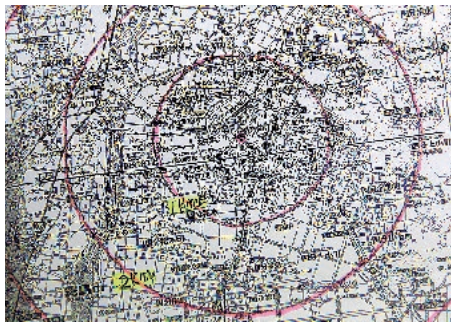
たくさんの励ましがある反面、後ろ盾なく一人で活動する北島さんは心ない批判や中傷を受け、活動をやめるべきか迷ったことも。

そんなある日、偶然にも目の当たりにしたのが被爆した広島市の無残な航空写真。思わず手でさすっていた自分に驚き、「傷ついたわが子の痛みを分かち合うような気持ちに、ヒロシマを見捨てられない、語り部を続けよう」と覚悟を決めました」と打ち明けます。

「ヒロシマ」を

伝え続ける語り部

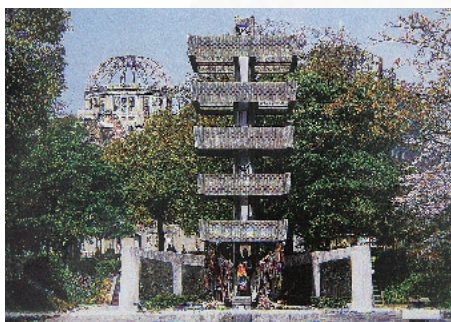
人の風景 THE SCENE Vol.101 霧島に生きる



語り部活動で北島さんが使う地図。聞き手が原爆の威力を想像しやすいよう、爆心地を霧島市役所に置き換えている



子どもたちが折った折り鶴と、帰郷時にそれを北島さんが手向ける広島平和記念公園内の「原爆の子の像」



同公園内の「動員学徒慰霊塔」。碑の裏には、全国から学徒動員され被爆した生徒の学校名が刻まれ、鹿児島島の学校名もある。北島さんは訪れるたび故郷の風景を見せようと桜島が載った絵はがきを供えている

被爆者の話を聞くことにも大きな意義があると気付いたと話します。「生き残った負い目や心の傷が原因で戦争体験を話したがいらない人も、私の活動を聞いて話し始める人もいます。話し終えると皆さん、安堵の表情を浮かべます。皆さんには、体験を伝える役目から開放されて心静かに余生を過ごしてほしい」と願いを込めます。

広島に「落とされた」1発の原爆が奪った命はおよそ14万人。数字では見過ごされがちですが、その一人一人には人生や夢がありました。亡くなった人の分まで精一杯生きたいと話す北島さん。「平和とは、命の尊さとは何なのか」。これからもその問い掛けは続きます。



北島 みゆきさん (53)

広島市出身。生涯学習1級インストラクター。24歳で結婚・夫の転勤を機に神戸市に、30歳で霧島市へ。平成21年から市内を中心に平和の語り部活動を始め、これまで延べ500人に原爆の怖さと平和の尊さを伝える。夫と2人暮らし。国分在住。



郷土史への扉

今年太平洋戦争が終結して70年を迎えます。霧島市内には当時を物語る「戦争遺跡」が現在もお残っています。今回は、当時の面影はなく、忘れ去られようとしている「国分海軍航空隊」について紹介します。

一、国分海軍航空隊

太平洋戦争の開戦が濃厚となりつつあった昭和16年の春ごろ、航空要員の教育機関である国分海軍航空隊基地整備のため、大規模な用地買収が始まりました。

基地の場所は、現在の陸上自衛隊国分駐屯地のある大野原地域。約3000畝の用地が必要とされたため、約200戸あった民家は、翌17年1月までに移転せよとの軍命令によって分散移転しました。移転先は、国分の有下、川跡、越倉や隼人の真孝、見次方面でした。現在の隼人町川尻地区は、住吉新川から移転した集落です。

なぜ国分に基地が整備されたのでしょうか。それは、地勢的に国分地域

を含む南九州が、本土防衛の最終防衛ラインとして軍事的に重要であったため、知覧や鹿屋のほか、加世田の万世など多くの基地ができました。

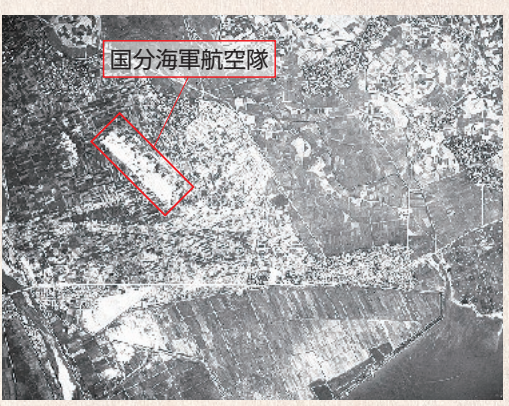
突貫工事で進められた航空基地整備は昭和18年に完成し、翌19年8月から海軍航空隊の少年兵を中心とした初歩練習部隊として航空要員の養成が始まりました。そのころになると、戦況

も激化し、国分航空隊の飛行機分散の必要性によって、溝辺の十三塚原（現在の鹿児島空港付近）に新しく基地を建設することとなりました。

二、第二国分基地

溝辺の十三塚原の基地建設現場には溝辺地域の住民を中心に鹿児島市や指宿など県下一円から多くの勤労奉仕者

戦後70年記念 「国分海軍航空隊」



昭和23年米軍撮影「国分海軍航空隊跡」
出典：国土地理院

が動員されました。遠方の人たちは日当山の宿舎に泊まり込み、毎日夜明け前の薄暗い時間に出発し、現場まで長い坂道を歩いて行きました。重機などもなく、全てが手仕事で基地建設が進められました。

高台で水が少ない十三塚原では、水を確保するため一升瓶を数本背負い、1日4往復ほど隼人町迫間の川までくみに行ったそうです。

十三塚原の飛行場は昭和19年末に一部完成します。これにより国分海軍航

空隊は第一国分基地に名称を改め、十三塚原の基地は第二国分基地と名付けられ、両基地からは多くの戦闘機が出撃しました。

昭和20年3月には戦況の悪化により訓練部隊の機能を香川県の観音寺海軍航空隊へ移します。第一国分基地は、沖繩の地上戦に備え、実戦部隊とするため鹿屋に本部があった海軍第五区航空艦隊の指揮下に入りました。

三、特攻隊の出撃

太平洋戦争末期におけるアメリカなどの連合軍の攻撃は激烈を極め、戦局は日に日に日本軍の劣勢となっていました。そこで日本軍は敗色を一気に挽回するため、250キの爆弾を抱えた戦闘機を敵艦に体当たりさせることで撃沈させる「特攻作戦」を実行します。

作戦を担う神風特別攻撃隊（特攻隊）は第一国分基地と第二国分基地から、昭和20年3月18日から6月3日までの間に、16回出撃し、427人もの尊い特攻隊員の命が南の海に散りました。

その後、私たちのまちでは、祖国の勝利を願いつつ若い命を捧げて飛び立っていった特攻隊員の氏名を永久に残すため、陸上自衛隊国分駐屯地正門前と溝边上床公園に特攻慰霊碑が建立されています。

（文責＝鈴）

～楽しもう★ジオパーク!～

霧島ジオパーク誕生から4年。今年は日本ジオパーク全国大会が霧島で開催されます。ジオパークとは、大地(ジオ)と人のつながりを見つめ直す公園のことです。このシリーズでは、そんな霧島ジオパークのいろいろな楽しみ方をご紹介します。


体験の様子をケーブルテレビで放送します。

- 放送日時=7月15日(水)～17日(金)、22日(水)～24日(金) 午前3時～、9時～、正午～、午後4時～、8時～、11時～
- 番組名=南九州ケーブルテレビ「情報マルシェ」

噴火の仕組みを
楽しみながら学べます

やってみよう!
コーラで
火山の実験!

シリーズ第3弾では、
谷口知隆さんにコーラを使った火山の実験について教えていただきます。



谷口知隆さん
宮崎県御池青少年自然の家
主任指導員。



宮崎県御池青少年自然の家

宮崎県都城市夏尾町5988-30
<http://www.miike-msgsi.jp/>

青少年が体験活動を通して、「規律・協同・友愛・奉仕」の精神を学び、豊かな心を育てるための宿泊研修施設です。霧島ジオパークの教育拠点施設の一つでもあります。



こちらの2次元コード
からも視聴できます



①準備するもの



準備するもの/コーラ(1.5ℓ)、ラムネ菓子3粒、たこ糸、ペットボトルのふた。
ラムネ菓子とペットボトルのふたにはあらかじめ中心に穴を開けて、写真のようにたこ糸を通しておきます。



③実験

コーラが激しく噴き出るから、少し離れて観察しましょうね!

実験の仕組み



中の炭酸が急激に気体になることでコーラが噴き出します。実際の火山では、マグマの中に溶けている水が急激に気化することで噴火が起こります。

②実験の方法

- ①コーラのふたを開けます。
- ②たこ糸でつないだラムネ菓子とペットボトルのふたをコーラに取り付けます(このとき、ラムネ菓子がコーラに落ちないようにひもを手で押さえておきます)。
- ③準備が整ったら、手を離してラムネ菓子をコーラの中に落とします。
- ④コーラ噴火が始まります。



④実験のあと



コーラは炭酸がほとんど抜けてしまいます。平成23年の新燃岳噴火でも同じことが起こっていて、爆発的噴火の後に溶岩(水蒸気の抜けたマグマ)が火口の中を埋めました。



火

山の噴火はどのようにして起こっているのでしょうか。その答えがコーラ実験で簡単に分かります。噴火はマグマに含まれている「水」が急激に気化することで起こります。地下深くではマグマに溶け込んでいた

水が、地表に近づき圧力が下がると水蒸気になります。大気中では、水が水蒸気になると体積がなんと約1,700倍にもなります。これが噴火の原動力になっています。今回の実験では、ラムネ菓子をコーラに入れて噴火を起こし

ています。ラムネ菓子の表面には細かい凹凸がついていて炭酸ガスを発生させやすいことを利用しています。準備も方法も簡単ですので、ちょっと甘い火山の実験にチャレンジしてみませんか。

第6回 日本ジオパーク全国大会「霧島大会」開催 日時:10月27日(火)～29日(木) 場所:霧島市民会館ほか

お知らせ

国民健康保険・後期高齢者医療保険被保険者証更新

現在交付している国民健康保険証・後期高齢者医療保険証の有効期限は、平成27年7月31日までです。

新しい保険証は7月末までに簡易書留郵便で送付します。8月1日を過ぎても届かない場合は、問い合わせください。

国民健康保険証は世帯主宛て、後期高齢者医療保険証は本人宛てに送付します。(世帯に被保険者が複数いる場合は世帯ごとに送付)

■内容を確認しましょう

保険証の切り替えは資格内容を確認するために行うものです。記載内容に誤りがないか、国民健康保険の場合は、国民健康保険以外の保険に加入した人の保険証が含まれていないか確認し、誤りなどがある場合は必ず担当窓口で手続きをしてください。

■納付相談をしましょう

国民健康保険税を滞納して

いる世帯には、通常の保険証を送付できません。7月中旬に納付相談にお越しの上、担当窓口で保険証の更新手続きをしてください。

※古い保険証はお近くの担当窓口に返却してください。

◎問 保険年金課国民健康保険グループ・後期高齢者医療グループ ☎(64)0886

環境にやさしい農業を応援します

●対象

販売を目的として生産を行う農業者などで、エコファーマー認定を受けており(有機農業での申請の場合は不要)、農業環境規範に基づく点検を行っている人。

●条件

・化学肥料や農薬の使用を5割以上低減する活動とカバークロップ、炭素貯蓄効果の高いたい肥を組み合わせていること。

・有機農業(化学肥料、農薬を使用しない)の取り組みを行っていること。

●支援単価 110円/当たり 3000~8000円

第5弾

プレミアム付 共通商品券の 販売が始まります

1万円につき2,000円分お得です



市内の事業所の売り上げ増大と地域経済活性化を図るため、お得な共通商品券を販売します。ぜひこの機会に商品券を購入して、地元でのお買い物をお楽しみください。

- 商品券=12,000円分(1,000円券×12枚)を10,000円で販売
- 発券数=10万セット(売り切れ次第終了します) ※1人10セット(購入価格10万円)まで
- 販売および利用期間=8月2日(日)~平成28年1月31日(日)
- 販売場所=霧島商工会議所、霧島市商工会(本所・各支所)、霧島市観光協会ほか。
- 利用可能店=霧島商工会議所、霧島市商工会、霧島市観光協会の会員のうち、商品券取り扱い店(のぼり旗とステッカーが目印です)。

※今回のプレミアム付商品券は、12枚のうち3枚は小規模店舗専用とし、大規模店舗ではご利用できません。詳細は問い合わせください。
問 霧島商工会議所 ☎(45)0313、霧島市商工会 ☎(42)2128、霧島市観光協会 ☎(78)2115、商工振興課 ☎(64)0912

※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先
 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業(20歳以上が対象)
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

※この制度に関する問い合わせは、7月31日(金)までにお願います。

◎**問** 農政畜産課 ☎(64)0910、各総合支所産業建設課

児童相談所全国共通ダイヤルが「189」に

子どもや保護者のSOSの声に24時間対応するための、児童相談所全国共通ダイヤル10桁の番号が、7月から「189」という覚えやすい3桁の番号になりました。

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときには、ためらわずに児童相談所や市役所へ連絡してください。あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。

◎**問** 子育て支援課子ども家庭支援室・家庭児童相談室 ☎(64)0881

戦後70年特別企画 桂竹丸講演独演会

●日時 8月8日(土)午後4時30分から(開場 午後4時)

●場所 霧島市民会館

●料金 全席指定1000円、ペア券1500円。
 ●販売所 霧島市民会館、きりしま国分山形屋など。
 ※ペア券は霧島市民会館のみで販売



落語家 桂竹丸さん

◎**問** 霧島市民会館 ☎(64)0926

子どもたちに本を贈りましょう

子どもたちの読書への関心を高めるために、家庭や職場で眠っている本を提供してください。お寄せいただいた本は、小・中学校などに寄贈します。当日のボランティアも募集しています。

●日時 7月19日(日)、20日(月・祝)午前10時~午後4時

●場所 隼人公民館(隼人農村環境改善センター横)

●対象 対象外の本 週刊誌、百科事典、劣化した本など。

◎**問** 子ども達に本を贈る運動実行委員会(新田) ☎(42)0726

舞台「霧島の花嫁」

霧島を舞台にした切なくも愛らしい家族の物語です。愛華みれさんや西田聖志郎さんなど、鹿児島県出身の俳優が出演します。

●日時 9月6日(日)午後3時から(開場 午後2時30分)

●場所 霧島市民会館

●料金 全席指定3000円

●販売所 霧島市民会館、きりしま国分山形屋など。



◎**問** 霧島市民会館 ☎(64)0926

薩摩琵琶 櫻井亜木子

凱旋記念演奏会

平成26年度文化庁「文化交

流使」として中南米、アメリカ、欧州で12か国公演を終え、霧島市で凱旋演奏会を行います。

●日時 8月7日(金)午後6時30分から(開場 午後6時)

●場所 国分シビックセンター 多目的ホール

●料金 前売券2000円(当日券2500円)

チケットプレゼント

凱旋演奏会のチケットを抽選で5人にプレゼントします。

●応募方法 ①はがきに氏名、郵便番号、住所、電話番号を記入し、郵送。

●締切 7月30日(木)必着



琵琶奏者 櫻井亜木子さん

◎**問** 申 霧島市芸術文化フォーラム(日高) ☎090(8585)8598、〒899-5106 隼人町内山田1500-11

人権について考えよう

人権同和問題啓発強調月間

の8月に合わせ「じんけんフェスタ」を開催します。

●日時 8月8日(土)午後1時30分~3時40分(開場 午後0時30分)

●場所 隼人農村環境改善センター

●講師/演題 安川雅史(まさし)さん(全国Webカウンセリング協議会理事長) / 子どもたちを取り巻くネット環境

Twitter・LINE・スマートフォン
 ●入場料 無料

※入場整理券が必要。整理券は市民課、隼人市民福祉課、各総合支所市民福祉課、市民サービスセンターコア。よかで配布しています。

◎**問** 市民課人権擁護推進グループ ☎(64)0901

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指しましょう。

【行動目標】

- 犯罪や非行のない安全な地域社会を築くための取り組みを進めよう
- 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

◎問Ⅱ 鹿児島保護観察所企画
調整課 ☎099(226)1556

きりしま吹奏楽団 第24回定期演奏会

● 日時Ⅱ 8月2日(日) 午後1時30分から(開場Ⅱ午後1時)

- 場所Ⅱ 霧島市民会館
- 入場料Ⅱ 無料
- 曲目Ⅱ アルヴァマー序曲ほか

◎問Ⅱ きりしま吹奏楽団(石田) ☎090(1363)7547

相 談

司法書士無料相談会

県司法書士会霧島支部の司法書士が土地、建物、会社の登記や遺言、消費者金融問題などの相談に応じます。事前に予約すると優先的に相談できます。(秘密厳守・相談無料)

- 日時Ⅱ 8月8日(土) 午前10時～午後4時
- 場所Ⅱ 高千穂地区公民館(牧園町高千穂3864-393)

◎問Ⅱ 県司法書士会霧島支部 ☎(52)8485

募 集

自衛官募集

募集種目		受験資格	受付期間	第1次試験日
航空学生		高卒(見込み含む)から21歳未満の人	8/1(土)～9/8(火)	9/23(水・祝)
一般曹候補生		18歳以上27歳未満の人	8/1(土)～9/8(火)	9/18(金)、19(土)いずれか1日
自衛官候補生	男性	18歳以上27歳未満の人	年間を通して受け付け	受け付けのときに通知
	女性	18歳以上27歳未満の人	8/1(土)～9/8(火)	9/25(金)～29日(火)のうち1日

※受験資格の年齢は、平成28年4月1日現在。

◎問Ⅱ 自衛隊鹿児島地方協力

● 本部国分地域事務所 ☎(45)1836

手話通訳者養成講座 (実践課程) 受講者募集

● 日時Ⅱ 7月29日～12月9日(隔週水曜、全10回) 午後7時～9時

- 場所Ⅱ 国分公民館大会議室など
- 対象Ⅱ 18歳以上(高校生除く)で、手話通訳者養成講座(応用課程)を修了し、手話通訳者全国統一試験の受験を考えている人。
- 受講料Ⅱ 無料(テキスト代が別途必要)
- 定員Ⅱ 20人(申し込み多数の場合は抽選)

● 申込期限Ⅱ 7月22日(水)

◎問・申Ⅱ 長寿・障害福祉課 障害福祉グループ ☎(64)0855

裁判所職員採用試験

平成27年度裁判所職員採用一般職試験(裁判所事務官、高卒者区分)を実施します。詳細は受験案内(裁判所ホームページに掲載、最寄りの裁判所でも配布)をご覧ください。

ださい。

- 受付Ⅱ インターネット/7月14日(火) 午前10時～23日(木) 受信有効、郵送/7月14日(火)～17日(金) 消印有効
- 1次試験Ⅱ 9月13日(日)

◎問Ⅱ 鹿児島地方裁判所事務局総務課 ☎099(808)3707

サン・あもり健康講座

● 講座名

講座名	日 時	申込開始
ハタ・ヨガ(初級)	8/4～10/13(毎週火曜) 19:30～20:40(全10回)	7/14(火)から
もっとキレイにスローフローヨガ	8/5～10/14(毎週水曜) 19:30～20:40(全10回)	

● 定員Ⅱ 各講座先着21人

● 受講料Ⅱ 各講座4500円

● 準備Ⅱ タオル、飲み物、ヨガマット(バスタオル可)。

● 申込方法Ⅱ 直接か電話

◎問・申Ⅱ サン・あもり ☎(43)3373

サン・あもり夏休み講座
■ らくがき気分得水書道
墨を使わないので汚れません。大人は小筆の練習もできます。

● 日時Ⅱ 8月4日～25日(全4回、毎週火曜) 午後5時30分～6時30分

- 定員Ⅱ 先着25人(10人以上で開催)
- 対象Ⅱ 幼児～大人
- 受講料Ⅱ 1800円
- 申込方法Ⅱ 直接か電話
- 受付Ⅱ 7月8日(水)から

◎問・申Ⅱ サン・あもり ☎(43)3373

働く女性の家親子講座

夏休みに親子で手作り雑貨を作りませんか。

● 日時Ⅱ 8月6日(木) 午後1時30分～3時30分

- 対象Ⅱ 市内在住の小学生以上の子どもとその保護者など2人1組
- 参加費Ⅱ 1組500円程度
- 定員Ⅱ 先着15組
- 申込方法Ⅱ 電話で
- 受付Ⅱ 7月7日(火)から

◎問・申Ⅱ 働く女性の家 ☎(46)3373



※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先
 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業(20歳以上が対象)
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

4464

黒石岳森林公園 ファミリーキャンプ

昆虫採集や森での体験型レクリエーション、昆虫竹細工作りなどします。

●日時 8月8日(土)午後1時～9日(日)正午

●場所 黒石岳森林公園バンガロー(国分川内)

●対象 小学4年生以下の子どもがいる家族

※親子での参加が必要です。

●参加費 大人5000円、子ども2000円(宿泊・食事・工作・保険料込み)

●申込期限 8月3日(月)

◎**問・申** 黒石岳森林公園 ☎(49)3688

スタンプラリーですてきな特産品を もらおう

「国分ハイテク展望台・台明寺溪谷公園・黒石岳森林公園スタンプラリー大作戦in霧島」を開催します。

3施設にあるスタンプを専用紙に押ししたらプレゼントがもらえます。さらに抽選で

5人に特産品などが当たります。

●期間 7月18日(土)～8月31日(月)

◎**問** 国分ハイテク展望台 ☎(46)8485、黒石岳森林公園 ☎(49)3688

今昔子ども水墨画体験

●日時 8月1日(土)午後1時から

●対象 小・中学生とその保護者※大人も可

●講師 芝龍郎さん(日本・中国水墨交流協会副会長)

●受講料 5000円

●定員 先着30人(要予約)

●申込方法 電話で

◎**問・申** 松下美術館「石神」 ☎(55)3350

ジュニア和食教室

だしの取り方、ごはん、みそ汁、簡単なおかずの作り方など調理の基本を学ぶ3回コースの教室です。

●日時 8月2日、9月6日、10月4日(全て日曜)、午前10時～午後1時。

●場所 国分公民館調理講義室

●費用 各回1000円(別途入会費1000円必要)

●対象 小学生

●定員 先着15人

●申込方法 電話で

◎**問** NPO法人霧島食育研究会「千葉」 ☎090(49)828898

夏休み自由研究ひらめき 体験教室in第一工業大学

霧島市内の小学生を対象に、自由研究のテーマに沿った体験教室を開催します。日時、申込方法など詳細は大学ホームページをご覧ください。

◎**問** 第一工業大学社会連携センター ☎(47)0593

きりしま徘徊模擬訓練

家庭や地域で役立つ認知症の人への見守り、声掛け、搜索方法を学ぶ「どけ行つたら徊?いっどき、てのんもんそや」を行います。

●日時 8月1日(土)午前9時30分～正午

●場所 霧島保健福祉センター
●料金 無料

◎**問** 小規模多機能ホーム「休庵きりしま」竹之下・小川 ☎(64)8282

ちいきカフェ「みんなの家」

お茶を飲みながら介護などについて、おしゃべりしませんか。

●日時 毎月第4火曜、午後1時～3時

●場所 レストランみんなの

家(牧園町宿窪田941-1)

●対象 認知症の人や家族、独り暮らしの人、認知症や介護について興味のある人など。

●利用料 300円(お菓子、飲み物代)

●申込方法 開催日の4日前までに直接か電話で

◎**問・申** 大庭医院「吉永」 ☎(76)1984

第12回きりしま美術展作品募集

■一般部門

- 出品規定
洋画(水彩・版画含む)、日本画の平面作品で、未発表のもの。
- 自由部門=20号～50号S・F・P・M
- テーマ部門=霧島の風景、神話、祭り、行事など霧島の特徴を入れたもの(8号S・F・P・M)。
- 出品数=各部門1人3点まで
- 出品料=1点につき2,000円(大学生、高校生は無料)
- 応募資格=全国の高校生以上の人

■ジュニア部門

- 出品規定=B4サイズの絵画(水彩画、油絵、クレヨン画)
- 出品数=1人1点まで
- 出品料=無料
- 応募資格=霧島市内に在住または所在する幼稚園、保育園、小・中学校の園児、児童、生徒。
- テーマ=自由(題材は問いません)

※応募方法、締め切りなど詳細は、問い合わせるか市ホームページをご覧ください。

◎**問**=きりしま美術展実行委員会事務局(文化振興課内) ☎(42)1119

昨年、市からマレーシアに派遣させていただきました。

何もかもが新鮮でした。訪問した学校の生徒や先生方はとてもフレンドリーでした。多民族が共存し、多くの言語が飛び交うマレーシア。1週間という短い期間でしたが、多くのことを経験し、私にとっていい刺激になりました。もっと現地の人と話をしてみたいという思いが強くなりました。今年もマレーシアやアメリカ、中国などに中高校生が派遣されるそうです。きっと皆さんがそれぞれのプラスになる経験をされると思います。応援しています。(M・Y 14歳女性)

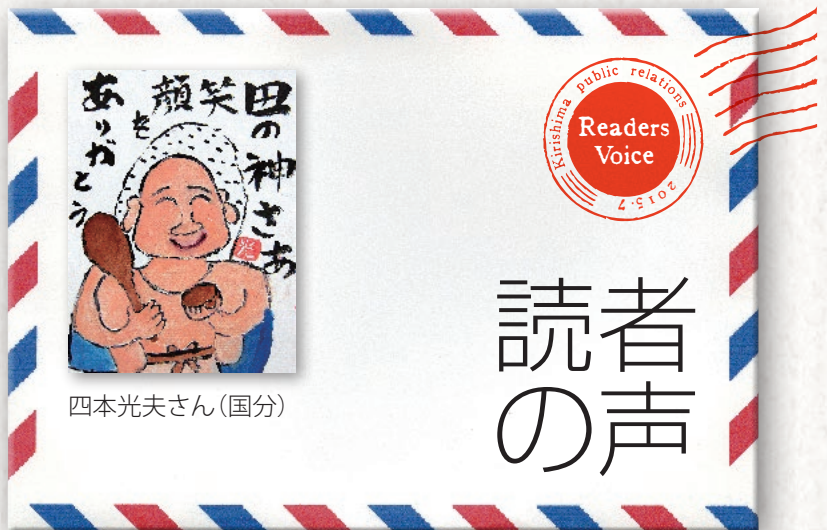
貴重な経験がこれからの人生に必ず生きてくると思っています。今の思いを大切に。なお、今年の中高校生派遣事業の募集は終了しています。

6 月から自転車の交通ルールが厳しくなりました。車を持っていない私はどこに行くのも自転車です。雨の日は雨傘を、晴れの日の日傘を差して片手運転で乗って

いました。でも、6月からはルール違反になり罰則の対象になってしまいます。折しも梅雨。早速レインコートを買いました。実際に使ってみると、不安定な片手運転より安定感があつて雨でも安心です。あとはレインブーツと日傘代わりのサンバイザーを買わなくては。スマートフォンを見ながら自転車

に乗る人もいるので罰則が厳しくなり良かったと思います。(YK 43歳女性)

今年は雨が続き、レインコートが大活躍ですね。法律改正により、携帯電話やイヤホンなどを使用しながらの運転も安全運転義務違反となり、悪質な自転車運転者には安全



四本光夫さん(国分)

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんの声をお寄せください。

講習の受講が義務付けられました。

毎月

月広報きりしまが届くのを楽しみにしています。何が楽しみかというところ、ちょうど広報誌の真ん中にあるクーポンです。霧島に住んで約20年ですが、知らないお店がまだまだたくさんあります。クーポンを利用して行けるので、気軽に足が運べるいいきっかけとなっています。(微魔女 41歳女性)

クーポンをご利用いただきありがとうございます。地域経済の活性化を目的に平成25年からスタートしました。掲載してほしいお店がありましたら情報をお寄せください。

な

「ぜか元気になる思い出の味」をいつも参考にさせてもらっています。6月号はガネ。祖母が作ってくれた味を懐かしく思い出しました。今まで作り方がよく分からなかったのですが、広報誌のレシピを見て子どもにも作ってあげようと思います。(猫にや 29歳)

お祭りやイベントの最新情報をいち早くキャッチ。お好みのイベントを探して、出掛けてみませんか。

垂水市 たるみずふれあいフェスタ2015夏祭り



- 日時=8月8日(土)午後3時30分~9時(花火は午後8時から)
 - 場所=旧垂水港特設会場
- 問=実行委員会(垂水市商工会)
☎0994(32)0225

湧水町 竹中池公園プール



- 日時=7月18日~8月31日(7月31日、8月10、21日は休み)
 - 時間=正午~午後4時
 - 場所=始良郡湧水町川添1032-6
 - 料金=幼児100円、小学生以上200円
- 問=湧水町観光課 ☎(74)3111

成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ります。

歳女性)

ガネの材料や作り方は家庭によって違うようです。それぞれの家庭の味は、思い出とともに大切にしたいですね。

霧

島市に引越してきて1年が過ぎました。引越

越してきた当初は土地勘もなく周りに知っている人も少なく、新しい生活への期待もありながら不安なこともありました。でも、今では霧島市の良さがだんだんと分かるようになり、本当に住みやすく子どもを育てるにはとてもいい環境だなと感じるようになりました。周りの皆さんも親切にしてくださる人が多く、ま

ちの豊かさが人柄にも影響しているのかなと感じています。これからも霧島市の大好きな場所などをもっと見つけて、家族みんなで楽しく過ごしていけたらと思います。(ちっちゃきち33歳女性)

地方創生の時代、霧島市では地方創生推進本部を県内でもいち早く立ち上げました。

さらに地方創生有識者会議も設置して、ただ今霧島市地方創生総合戦略を策定しているところですよ。

7

月18日・19日は「霧島国分夏まつり」。今年は

私の職場でも踊りに参加しようという話がまとまりました。年がいてもなくわくわくして、みんなで当日の踊りや衣装を考えています。子どもからお年寄りまで盛り上がる夏祭り。晴れるように今からてるてる坊主を軒下にぶら下げてるつもりです。(甘夏56歳女性)

当日が楽しみです。今年

は市制施行10周年記念の特別企画もあるようです。市内各地の主な夏祭りは6月号お知らせ版に掲載しています。

妻

と二人で生活しています。毎週2回の可燃ご

み出しは私の役割です。先月、家庭用の生ごみ処理容器を購入し、早速使ってみました。すると、生ごみが見事に肥料となり、家庭菜園に活用できました。ごみ袋は小さい袋に

なり、ごみの量も減少。まさに一石二鳥。小さなことですが、今後ごみの減量に取り組みたいと思います。(満天58歳男性)

素晴らしい取り組みですね。霧島市ではごみの減量のために電気式生ごみ処理機の購入補助制度があります。詳しくは環境衛生課(☎64-0961)まで問い合わせください。

認

知症がある義理の母、最初はとてもつらくて、

私の方がふさがちでした。でも、前向きに考えないとけないと自分自身に言い聞かせ、一番つらいのは本人だと思えるべく明るく楽しく優しく接するように心掛けました。孫を見ると、とてもうれしそうな母。いつまでも笑顔の絶えない母でいてほしいと思います。(ナオミキャンベル35歳女性)

気持ちの切り替えがうまくできたんですね。霧島市の地域包括支援センター(☎48-7979)では介護に関する総合的な支援を行っています。

困ったときには一人で悩まずご相談ください。

高

千穂河原のミヤマキリシマがきれいだと知人に教えてもらい、友人と出掛けました。登山者だけでなく私でも行ける場所で、初めて見たミヤマキリシマは感動でした。ただ、公衆トイレには洋式が一つしかなく、和式に入

った私は手すりがなくて苦労しました。安心して使えるように洋式和式とも手すりを付けていただけるとありがたいです。来年もまたミヤマキリシマを見に行きたいと思えます。(山が好きになりたい人72歳女性)

トイレで不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。手すりは鹿児島県と協議して検討してまいります。貴重なご意見をありがとうございます。

このほか35通のお便りをいただきました。文章は紙面の都合上訂正させていただくことがありますので、ご了承ください。

*環霧島会議と錦江湾奥会議を構成するまちの

環霧島・錦江湾奥イベント情報

鹿児島市 2015桜島火の島祭り



- 日時=7月25日(土) 午後5時30分～8時40分
- 場所=桜島多目的広場(桜島横山町1722-17)
- 問=サンサンコールかごしま ☎099(808)3333

始良市 加治木夏祭り花火大会



- 日時=8月2日(日) 午後5時30分～9時(花火は午後8時から)
- 場所=加治木港
- 問=始良市商工会加治木支所 ☎(63)2295

*環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構

◎「広報きりしま」にお便りをくださった方の中から産直レストラン『黒豚の館』より「黒豚しゃぶしゃぶセット」を5人にプレゼント。応募締め切りは7月21日(火) 当日消印有効です。※当選の発表は、賞品券の発送を持ってかえさせていただきます。



←市ホームページからもプレゼントの申し込みができます。

7 PRESENTS

黒豚しゃぶしゃぶセットをプレゼント

黒豚の本当のおいしさを味わってください。

黒豚の館でお届けする黒豚は、大自然に恵まれた環境で霧島の清らかな水とサツマイモや独自の飼料で育てています。柔らかで弾力のある肉質と、口の中にとろける脂が絶品。軽くしゃぶしゃぶして、きれいなピンク色のお肉を一口頬張れば黒豚の本当のうま味と甘味が広がります。



大皿から5人分、1人前

中綴じのクーポンもご利用ください。

霧島高原ロイヤルポーク 産直レストラン『黒豚の館』

霧島市霧島永水4962 ☎(57)0713

営業時間/昼の部午前11時～午後3時 夜の部午後5時～8時(火・水曜は昼のみ、祝日は夜も営業)
定休日/水曜日(祝日の場合は翌日)

※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64)0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧いただけます。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口/127,399人(-21)

男性/61,346人(-32)

女性/66,053人(+11)

出生100人/死亡106人

転入399人/転出344人

◎世帯数/60,067世帯(+21)

(平成27年6月1日現在)



子どもの一時預かり保育をご存じですか

キッズパークきりしま

- 登録受付時間=午前10時～午後5時
- 登録に必要なもの=登録料1,000円、運転免許証。
- 預かり時間=午前10時～午後9時
- ※前日の午後6時までの予約で、午前9時から預かり可能です。
- ※土日や祝日も利用できます(年末年始を除く)。
- 対象年齢=1歳～小学3年まで

国分中央三丁目9番20号 ☎(48)6886
国分パークプラザ2階

冠 婚葬祭や病気、育児中のリフレッシュなど、保護者の事情で一時的に家庭で保育ができない場合にキッズパークきりしまや市内の保育園、認定こども園で子どもをお預かりします。



利用するには事前に登録が必要です。実施施設など詳しくは霧島市子育てガイドブック「ぐんぐんの木」、霧島市ホームページでご確認ください。

※子育てガイドブックは、子育て支援課、隼人市民福祉課、各総合支所市民福祉課でお配りしています。
☎=霧島市役所子育て支援課 ☎(64)0991

今月の表紙



特攻の碑
(溝辺町上床公園)

溝辺町上床公園内にある「特攻慰霊碑」。隊員の銅像や第二国分基地から飛び立った特攻隊員の名前が刻まれた石碑、零戦のプロペラなどがあります。敷地内の溝辺コミュニティセンターには特攻資料室があり、隊員の思いを感じることができます。戦後70年、薄れていく戦争の記憶。霧島市には、あの時の思いを知るすが、すぐ近くにあります。特攻の碑がそのことを教えてくれました(美坂)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ17～55mm
F2.8 1/200s F7.1 ISO100

語り継ぐことは戦争体験者だけの問題ではないと改めて思いました。戦後65年のときも特集しましたが、今回新たに知る事実もあり、学ぶことの重要性と次へ語り継ぐ必要性を感じました。未来の平和のために、まずは平和コンサートを聴きに行きたいと思えます(美坂)

リ サイクルという言葉は戦争当時使われなかったが、当時ほど資源を大切に時代は無い。食材は余すことなく全て使い、物資や金属類も軍備のために集められ、生活の中に無駄なものは一切無かったと伺った。資源は有限。未来ある地球と子どもたちのために3R(古市)

継 いでいくこと。平和の大切さや当時の戦争体験を聴いて感じたことを自分なりに伝えていかなければと思いました。早速11ページを活用しようと思えます。そしてドリームで取材した町田君の話を聞くと、少し先の未来がどんなふうに変まっているのか楽しみです(土井)

と ずると敵に見つかるとして、沖縄戦の壕では自分の手でわが子の命を絶たねばならない母親もいたそうです。特攻隊員は愛する人を守るため自分の命をささげました。取材から帰宅して見た子どもの寝顔に、本当に平和の有り難さを感じました。私も語り継ぎます(川床)

市長コラム 前田終止

追体験から学ぶこと

戦後70年にあたり、今年4月、天皇皇后両陛下がパラオ共和国を訪問され、戦没者の慰霊と平和を祈念されましたことに、深い感銘を受けました。

私は、学生時代に友人らと「日本青年遺骨収集集団」を設立。昭和46年にサイパン島やテニアン島へ、2年後にはアンガウル島などパラオ諸島を歴訪。自らの手で幾千もの遺骨を収集し、茶臼に付して東京の千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納めました。私たちの活動が国の遺骨収集などの戦後処理業務を加速させたことを昨日のことのように思い出します。

戦争を知らない世代には、体験者の方々の話を聴いたり、溝辺の上床公園や自衛隊国分駐屯地の資料館、大隅横川駅の柱に残る弾痕などを見るなどして、戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継いでいくことが必要です。平和への学びをより深くするのが戦跡での「追体験」です。その場の空気を体で感じ、当時の苦難をしのびながら、平和な社会を維持するために努力されている皆さまに感謝し、恒久平和を願わずにはいられません。

いつもきれいな花を生けている
創年クラブの女性会員たち



皆さんは陸上自衛隊国分駐屯地を含む広瀬・福島一帯に、特攻隊の発進基地があったことを知っていますか。ここか

ら210人もの特攻隊員が祖国のために飛び立ち、その若い命を散らしました。国分駐屯地の前にある「特攻碑公園」

私たちにできることを続けて

◎盛重 秀夫

の「特攻機発進之地」記念碑には、溝辺にあった基地から飛び立った隊員も含めた427人の名前が刻まれています。私は当時、特攻隊に志願しましたが、出撃を待たずに終戦を迎えました。今もこの碑を見るたびに、出撃された方々への敬意と生き残った負い目を感じます。

碑は隊員の霊を慰めようと市民や自衛隊員により建立され、昭和39年8月15日に除幕。それ以降、毎年同日に全国から特攻隊の生存者や遺族、関係者が集まり、特攻慰霊祭が行われてきました（現在は出撃者数が多かった4月22日に近い日曜に開催）。

私たち国分福島地区の老人会「創年クラブ」も当初から慰霊祭に参加してきました。現在、22日を清掃の日に定め、毎月この公園に祭られている霊に対し供養の気持ちを込めて花を供え、公園の草刈りや植木の手入れなど清掃が続いています。

これまで暑い日も寒い日も

雨の降る日も、30年以上続けてこられたのは「私たちにできることをやりたい。遺族の方たちがいつ来られてもいいように、きれいな碑を見て喜んでもらえるように」という共通の思いがあったからだと思えます。

同クラブは現在91人で、30人ほどが交代で取り組んでいます。植木の間の落ち葉も拾い、しおれる前には花を替え、碑に水を掛けるときは「ありがとうございます」と語り掛けます。掃除が終わわり、きれいになった公園を見ると、みんな思わず笑みがこぼれます。空をながめ、「心安らかに」と祈らずにはいられません。

この活動を通してうれしいこともあります。ここを訪れる遺族の方が、本当に喜んでくださる事です。例えば、東京から来られた遺族の方で、鹿屋の航空基地史料館でこのことを聞きつけ訪れた方もいました。立派な碑が立ち、名前が刻まれていることに感激したようで、その後、私た

ちが供えた花に感謝し、手紙と共に花代が届いたこともありました。地域の先輩方から受け継いできた私たちの思いが遺族の心に届き、本当にうれしかったです。

今年、戦争が終わり、平和が訪れてから70年がたちます。これからも平和が続くことを願って、特攻隊員と遺族のため、私たちは特攻碑公園をきれいに守っていきたい。そして、平和の尊さを後世に伝えていきたいと思えます。

Profile

もりしげ ひでお (86)



鹿屋市輝北町生まれ。昭和30年から昭和64年1月まで陸上自衛隊国分駐屯地で防衛庁技官として勤務。昭和45年、国分西小に剣道クラブを創設。平成11年に秀明館道場開設。剣道4段、居合道5段。趣味は木工と園芸。今年から福島地区老人会「創年クラブ」会長。国分福島在住。

地鶏料理 桜島溶岩焼

みやま本舗国分店

リニューアルオープン



個室

60名様規模の宴会可能／個室15部屋完備／新メニュー追加

リニューアルしたみやま本舗国分店は、60名様規模の宴会が可能になり、個室は15部屋完備し、より多くのお客様にご利用頂けるようになりました。

秘伝のタレの「鶏の刺身」や桜島溶岩プレートで新鮮な鶏肉を焼いてお召し上がり頂ける「桜島溶岩焼」に加え、新メニューを追加しております。

ランチは、仕事の合間やご友人とゆったりしたお時間を。夜は、ご家族、女子会、職場の飲み会など、さまざまなシーンでのご来店をお待ちしております！

駐車場はお近くのパークプラザをご利用ください。

昼は980円以上、夜は2,000円以上のお食事で、2時間の無料駐車券をお渡ししております。(駐車券を忘れずにご持参ください)

ご家族で、また、大小宴会でのご利用をお待ちしております。



夏到来!

暑い日はアサヒビールが送る氷点下シリーズ！この氷点下シリーズをそろえているのは、霧島市内で当店だけ！ぜひノドを凍らせてください！



ランチ女子会にもぜひご利用ください

地鶏料理一筋 うまさそのままに。

みやま本舗国分店

霧島市国分中央3丁目14-9 ☎0995-46-2228
(昼)11:30～15:00 (夜)17:15～23:30 (LO23:00)

- 鹿兒島中央駅店 鹿兒島市中央町1-1 JR中央駅内 ☎(099)253-2228
- 天文館店 鹿兒島市千日町13-25-1F ☎(099)222-2541
- 二官橋通り店 鹿兒島市山之口町10-25-1F ☎(099)248-9711
- 霧島店 霧島市霧島田口1611-10 ☎(0995)57-0201
- 地方発送販売所 霧島市隼人町真孝11-1 ☎(0995)73-3339
- 串揚げ／串庵 霧島市国分中央3丁目6-7 ☎(0995)55-5577
- 海船ぶた丸 霧島市国分中央3丁目7-22-1F ☎(0995)55-6777

山形屋
きりしま国分

- 鹿兒島銀行
- パークプラザ

●タイヨ

●市民会館

みやま本舗国分店

パークプラザ駐車2時間無料券発行

広告